

第 38 回例会
 2021.4.21

会員 73 名中 51 名出席 69.86%
 修正 53 人 72.60%
 メイクアップ 2 名

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク Holger Knaack
 国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司
 福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭
 標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クーラクーリアンテナパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長



そよそよ軟風が吹き木の枝が、その風をとらえて揺れている。森羅万象が春を告げています。今日は室町後期の剣客で、鹿島新当流を創始した塚原ト伝とその弟子の会話をロータリーに絡めて紹介させていただきます。ある時、塚原ト伝のところへ一人の剣客が弟子にしてほしいとやってきます。その剣客の腕前を試してみるとなかなかのものですぐに入門を許されました。腕に自信がある弟子が師匠にこんなことを聞きます。「先生、私は一生懸命修行をします。そうしますと、何年位で免許皆伝をいただけるでしょうか」。弟子の質問にト伝はこう答えた。「そうだな、お前はなかなかの腕前であるから 5 年ぐらいで免許皆伝になるだろう」。その答えに不満を覚えた弟子は、「では、寝食を忘れて修行に打ち込みます。それだと何年で免許皆伝を頂けるでしょうか」、答えは「十年かかる」でした。あべこべな答えに驚いた弟子は、さらに「いや、もう私は死に物狂いで修行します。これだと何年かかりますか」。ト伝は笑って答えた。「おいおい、お前さん、死に物狂いでやれば、一生かかってでも免許皆伝とはならんよ」と答えるのです。一生懸命修行する、寝食を忘れて修行する、死に物狂いで修行するというのは、いずれも素晴らしいことのように思えるのですが、ト伝は必ずしもこれを良い事とは考えませんでした。つまり、続けることが何より大事であり、無理をすれば続けることが出来なくなるということを知ったのです。これを聞くとロータリーについても同じことが言えるのかも知れません。とは言っても「適当に中途半端な形で続けることが大事」ということではなく、真剣にやる中にも喜びや楽しみを味わう余裕を持つということなのだろうと思います。要するに、車のハンドルとかブレーキに遊びが必要なように人の心にも遊びが必要だということなのでしょう。

さて、話は一転しますが、世の中には、ある偶然が重なったお蔭で今生きていて、今ここにいる。という人がいます。そして、その人は、偶然の出来事で「自分は、何のために生きているのか」という、どちらかというと自分中心の考えから、「自分は何のために生かされているのか」という、他人中心の謙虚な考えに変わって、やがてそれがロータリーの「奉仕の理念」の実践に繋がって行くのです。私の勝手な想像ですが、今日のスピーカーの早川さんもそのようなお一人ではないかと思っています。今日は、地区の財団委員長としての話もしながら、少し違った角度からお話して頂けるものと思います。そのことに期待して本日の会長挨拶とします。

次回 4 月 28 日 (水) 第 39 回例会プログラム		【 例会 予定 】
1. 開会点鐘	2. ロータリーソング	5 月 12 日 (水) クラブフォーラム (青少年奉仕委員会企画)
3. 四つのテスト	4. 会長挨拶	5 月 19 日 (水) 会員スピーチ (大野 順道会員)
5. スマイルBOX 報告		【 地区・分区・その他関連行事 】
6. 各種表 (マルチプルポールハリスフェロー)		5 月 14 日 (金) 福島 21RC 創立 20 周年記念式典
7. 会員スピーチ (笠 雅樹会員、大本 雅晴会員)		5 月 15 日 (土) 新規米山奨学生とカネサマのためのプレゼンテーション
8. 幹事報告	9. 閉会点鐘	5 月 16 日 (日) 地区研修協議会 会長会、全体会議、分科会

◆ゲストスピーチ 地区RC財団委員長 危機管理委員会 早川 敬介 様

本日は第 2530 地区 2018-2021 ロータリー財団委員会 委員長の早川敬介様にスピーチを頂きました。早川様は(社)日本PTA全国協議会の専務理事も勤められた方で、次世代のため文部省にインターンシップ(職業体験)を提案するなどのPTA活動が認められ、2003 年文部科学大臣表彰を受けました。所属する郡山北ロータリークラブで 2016 年に申請したグローバル補助金を利用した東日本大震災支援事業が 2017 年に承認され(拠出金 ¥23,094,668)、南相馬に菜種油の搾油所を建設し、地域の復興に貢献しました。又、蔓延しているコロナ感染対策でもロータリー財団の補助金を使用し、マスクの寄付や、病院内にコロナ病棟との隔離に有効な空調設備などを率先して設置しているとのこと。なぜ早川様はここまで一生懸命なのかと言いますと、1985 年 8 月 12 日、日本航空 123 便に搭乗予約しておりましたがお客様の席がとれずキャンセル。幸い大惨事を免れた過去があり、「私の代わりに乗ったかもしれない人のために一生懸命活動する(生きるの)のです」と、結びに話されました。



「当日の会場写真」と「グローバル補助金を利用し建設された搾油所」の写真です。

◆インターアクトの歌 ソングリーダー 高橋 勇雄 委員



今日のロータリーソングは「インターアクトの歌」でした。開始前にソングリーダーの高橋勇雄委員の指揮により「みなさん、インターアクトの歌を歌えますか? 歌える人は声高らかに、分からない人は歌える人に合わせて。」と一言が頂きました。他クラブのウェブサイトでも話題になることもあるようです。がんばって「インターアクトの歌」を覚えましょう!

◆還暦のお祝い 渡辺 雅浩 会員



還暦おめでとうございます。「真面目が取り得」とのコメント通り、素晴らしい姿勢での授与でした。渡辺雅浩会員の真面目さ、人柄が現れています。

◆お知らせチラシ

